

循環いわて

2020-02 令和2年2月12日発行

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業資源循環協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



新春講演会

1月24日（金）にホテルメトロポリタン盛岡本館で開催され、釜石シーウェイブスRFCゼネラルマネージャーの桜庭吉彦氏を講師にお迎えして、懇話会まで120名以上の参加をいただき盛会でした。



講演では、「ラグビーワールドカップ2019を終えて～ラグビーを通じて学んだこと～」と題して、釜石ラグビーの歴史、東日本第震災からの復興、ワールドカップとレガシー、組織づくりなどのお話から、分野を超えて多くの御示唆をいただき、年頭の研修にふさわしい充実した内容でした。

※ 釜石シーウェイブスRFCでは、ラグビーを通じて地域貢献に取り組んでおり、個人及び法人の各サポーターを募集しています。

【案内HP】

<http://www.kamaishi-seawaves.com/supporter/fanclub.html>

【事務所】

〒026-0031

釜石市鈴子町22-1 シープラザ釜石

続いて、懇話会では、「秋の叙勲」で栄えある旭日双光章を受賞された門脇顧問にお祝いの花束を贈呈し、勲章の御披露と謝辞をいただきました。7期14年間に渡る本会会長や全産連副会長など、永年の御功労に心から感謝申し上げます。



歓談では、御臨席いただいた桜庭講師、多数の御来賓を交えて、和やかな輪が広がりました。

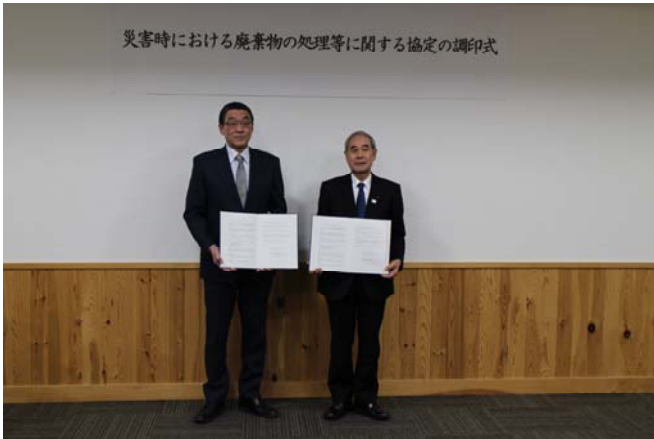
秋田県出身の桜庭講師は、温厚なお人柄で、お酒が強く、会員との握手や写真にも気さくに応じて下さいました。





災害廃棄物協定調印式

2月3日（月）、県央支部と紫波町の協定が締結されました。調印式には、藤原支部長、佐藤副支部長、生内理事が出席して、熊谷町長ら幹部と発災時の取組についての意見交換も行われました。今回で、県内33市町村のうち22市町村との協定が整い、今夏の台風等に向けた体制確保が進んでいます。



- 手洗い、うがいを励行する。
- 施設や機材を定期的に清掃及び消毒する。
- 規則正しい生活などにより、体調管理に努める。

2 発生時の主な対策

① 医療機関

- 非常時における廃棄物の増加を想定して、廃棄物保管場所を確保及び増設する。
- 廃棄物保管容器、ゴミ袋等の資材を備蓄する。

② 感染性廃棄物処理業者

- 医療機関からの感染性廃棄物を優先させるための方策を検討する。
- 非常時の感染性廃棄物処理について、あらかじめ医療機関と協議しておく（通常と異なる取扱い、医療機関での保管能力、保管容器の密閉対策等）。



事務局便り

【2月の行事予定】

- 10日（月） 県南地域懇談会（プラザイン水沢）
- 14日（金） 県北地域懇談会（二戸パークホテル）
- 16日（日） 産業廃棄物処理検定（福島県ほか）
- 17日（月） 県央地域懇談会（盛岡グランドホテル）

【3月の行事予定】

- 6日（金） 沿岸地域懇談会（釜石ベイシティホテル）
- 17日（火） 理事会（盛岡市）

◆編集後記◆

立春を過ぎましたが、厳しい寒さが続いています。季節性インフルエンザの注意報も発令されていますので、健康に留意して皆で年度末を乗り切りましょう。

今月の一ロメモ 資源エネルギー庁では、暖房用エネルギーの需要が増加する2月を「省エネルギー月間」とし、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった取組の推進を呼びかけています。



新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策の実施等について、1月30日付けで環境省から全産連に廃棄物処理に関する通知がありました。廃棄物処理は産業活動や社会生活に不可欠なサービスであることから、非常時においても安全かつ安定的に継続するため、「廃棄物処理における新型インフルエンザ対策ガイドライン」に準拠して下記の対策を徹底してください。

1 主な感染防止対策

- 手袋・マスクなどの防護具、肌の露出の少ない作業着を着用する。